

くみあいニュース

山口大学教職員組合 (2025 年 10 月 21 日 Tuesday)

第 297 号 (2024 年度-第 9 号) / 電話 : 083-933-5034 ・ メール : fuy-union@galaxy.ocn.ne.jp

学長による学生への説明会(10/8) 疑問に答えたのか？

10 月 8 日 (水) 昼に常盤地区を主会場に小串地区・吉田地区はオンラインのハイブリッド方式で谷澤学長からの説明会が開催されました。当初、30 分で説明・質疑を行うとされていましたが、実際には学長の説明が 20 分強あり、結局、質疑含めて 40 分の説明会となりました。質疑は常盤地区で 2 人、吉田地区から 3 人で計 5 人の学生から、「すでに入試が始まっているのになぜ?」、「一気に上げるのではなく段階的に上げることは考えられないのか」、「学生サービスを充実と言われるが継続的に行われるのか?」等の意見が出され、学長がそれぞれ答える (釈明する?) 形で進められました。



学生向け説明動画公開で教職員への説明も済んだと？

10 月 8 日学長による学生への説明会当日の動画が、10 月 15 日 (水) に Moodle にアップされたことが教職員にもメールで連絡されました。その前日 10 月 14 日 (火) の第 271 回教育研究評議会の審議資料には授業料値上げの具体案と学長説明会の質疑概要が配布されていました。しかし、いまだに教職員を対象とした説明等は一切行われておらず、間接情報のみとなっており、こうした状況に対して組合だけでなく、教職員の間でも疑問と反対の声が日を追うごとに大きくなっています。

教職員有志が「改定案白紙と対話」求め声明発出(10/17)！

今回の大学の拙速で粗雑な対応に対し、学内教職員有志により「山口大学の授業料改定手続きに対する山口大学教職員有志の声明」が発出されました。声明は 10 月 17 日 (金) 午後、大学に提出され、ネット上に公開されました。このことを契機に、山大の授業料値上げ問題は翌日の中国新聞で報道され、さらに翌週 10 月 20 日 (月) には、テレビでの報道ほか共同通信社や各種ネットニュースなど全国的に報じられました。

有志の会は、1. 山口大学の授業料改定スケジュールを白紙に戻すこと、2. 関係者との十分な「対話と合意」の機会を設定することを大学へ求めています。(回答期限は 10 月 24 日 (金) 午後 2 時)

有志の会は、現在も引き続いて賛同者・呼びかけ人を募っています。以下、声明・賛同用フォームです。

【山口大学教職員有志の声明】

<https://sites.google.com/view/yu-seimei-2025/>

【声明賛同用フォーム】

[声明賛同用 googleform](#) ※上記内にもリンクあり

学生による声明・オンライン署名運動や教職員有志による声明発出、そして組合の取り組みなど含めて、それぞれが声をあげ行動することにより、山口大学が公にならないうちに半ば秘密裡に決めてしまおうとしたものの、県内そして全国的に山大学費値上げがどうなるかへの関心が大きく広がり始めたと言えます。



組合・学生・教職員有志それぞれから疑問・抗議の声

学費値上げ、意見は返答なしの「ご意見受付フォーム」へ？

10月10日の大学回答受領のさいに組合が「ご意見受付フォーム」に届いた意見等の取り扱いについて大学担当者へ確認したところ、フォームへ届いた意見にはその都度回答するのではなく、授業料改定を決定・公表し終わった後にQ&A方式で公表・説明とする予定であるとの回答がありました。国会・地方議会等が求めるパブリックコメントは、重要施策への意見を求め法案等を確定する前に広く世間に還元されており、山大的今回の対応は意見を受け入れるつもりが全くないと思えないもので、民主的でなく乱暴な対応と言えます。

大学が示したスケジュールによれば10月23日（木）に経営協議会・役員会が開催されますが、そこで値上げを決定する可能性がありますので、意見締切を10月27日正午とした時点で、届いた意見を熟考する気はそもそもない、形だけの「ご意見フォーム」と言えます。一方、ある学生が大学に個人的に問い合わせたさい、大学からは意見・連絡は「ご意見受付フォーム」が公式の受付機関だから直接は対応できないと言われたことも明らかになっています。

急速に広がる「山口大学、地方大学初の学費値上げ」報道



こうした「半公開」、「不透明な説明」で授業料値上げを強行しようとしていることは、数日前までは大きな話題になっていませんでしたが、10月18日（土）の中国新聞朝刊に山口大学の授業料値上げの動きを「決定なら地方国立大初」として17日の教職員有志の声明発出にも言及した記事を掲載したことを機に、各メディアが次々と報じるようになっていきます。10月20日（月）には共同通信社が「山大授業料2割値上 組合反発」として配信したことによって、地方紙・全国紙でも報じられ始めました。中国新聞記事もYahoo Japan Newsでネット上にあがったことでさらに広がっています。その後も、読売新聞社・TYSテレビ山口等から組合等へ問い合わせがありました。

3大学学生有志が山大に集合、共同反対集会(10/22)

10月4日の抗議声明発表を機に大きく広がり始めた山大学生自身による「学費値上げ反対！」の運動は、10月6日の学長宛要請文提出、11日のオンライン署名開始を経て、近隣大学である広島大学、九州大学の学生有志とも繋がり、10月22日（水）昼休みには、3大学有志による共同での反対集会を吉田キャンパスでおこなうとのことです。



【山大・広大・九大合同学費値上げ反対集会】

■日 時 10月22日(水) 12:00～13:00
■場 所 山口大学吉田キャンパス
福利厚生施設 FAVO 横

【呼びかけ】

山口大学学費値上げに反対する有志の会
広島大学学費値上げ阻止緊急アクション
九州大学学費問題を考える会

【協 力】

学費値上げ反対全国学生ネットワーク

2025年人勧 平均3.62%・ホ-170.05月分引上げ完全実施を！

人事院は8月10日（金）に月例給を3.62%（15,014円）・一時金0.05月分改善を勧告しました。月例給は昨年の2.74%を上回り34年振りに3%台の改定率となっていますが、一時金は昨年の0.1月分の半額に留まっています。その他、マイカー通勤手当の距離区分増設（60キロまでから100キロ以上まで）と駐車場利用料（1か月当たり5,000円を上限）が新設されましたが、住居手当引上げ等は見送られました。

問題は、山口大学でも人勧に見合った給与等引上げを4月遡及実施するかどうかというところです。

組合は10月6日（月）、学長宛に人事院勧告に準拠した給与引き上げの完全実施を求める要求書を提出しました（詳細は続報）。